

平成28年度実施事業調査シート

■ 基本事項(事業の位置づけ)

No. 8	項目名	市民まちづくり提案事業推進費			主要な施策の 成果 ページ	19	担当 部署	まちづくり協働部 まちづくり協働課	
予算科目	会計	1	一般会計			総合計画 体系	分野	コミュニティ・市民自治	
	款	2	総務費				基本方針	市民公益活動の促進	
	項	1	総務管理費				施策	市民公益活動の支援	
	目	9	自治振興費				当初予算における区分	新規施策・拡大施策・ <b>重点施策</b> ・その他	
事務事業	60	市民活動推進費			↑該当するものを○で囲んでください				

■ 事業概要(実施内容)

事業の背景	<p>(事業開始の背景は？実施に至った経緯は？)</p> <p>多様化する地域課題に対処するためには、市民活動団体と市が相互の信頼と理解のもと、互いの特性や能力を持ち寄り、協働で解決にあたるのが重要であり、また、市民の暮らしに必要なサービスの維持や充実にもつながることから、市民活動団体との協働事業創出を目的とした市民まちづくり提案事業が実施されることとなった。</p> <p>そうした中で、当課分としては、市民まちづくり提案事業審査委員会において、平成22年度に草津コミュニティ支援センターとの協働事業である「いいことないかな？でんごんぼん発行事業」が採択され、その後、平成25年度にくさつ☆パールプロジェクトとの協働事業である「みんな共同参画事業」が採択され、両事業とも採択以降から現在まで事業を継続している。</p>
事業の対象	<p>(事業の対象、範囲となる人や物は何なのか？)</p> <p>「いいことないかな？でんごんぼん発行事業」：市民活動団体、市民全般</p> <p>「みんな共同参画事業」：市民全般</p>
事業の目的	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか？)</p> <p>「いいことないかな？でんごんぼん発行事業」では、市民活動団体の支援および市民の各種事業への参加の促進を目的とする。</p> <p>「みんな共同参画事業」では、市民の市政への関心の醸成および市民参加の推進を目的とする。</p>
事業の内容(取り組み)	<p>(どういった仕事の内容を、どのような手法・やり方で実施したのか？)</p> <p>「いいことないかな？でんごんぼん発行事業」では、草津コミュニティ支援センターとの協働事業において、市民活動情報を一元化した情報紙を年間6回発行し、市内外問わず様々な施設に設置するほか、町内回覧にて市内全域で周知を図った。</p> <p>「みんな共同参画事業」では、各種講演、イベント、講座等を実施しながら、その参加者に対して、市の各種審議会等の案内を行うことで、市民参加の推進を図った。</p>

■ 予算・決算状況

		当初予算の状況					決算の状況・実績				
内訳・詳細		◇市民活動推進費 ・「いいことないかな？でんごんぼん発行事業」協働委託費:300千円 ・「みんな共同参画事業」協働委託費:500千円					◇市民活動推進費 ・「いいことないかな？でんごんぼん発行事業」協働委託費:300千円 ・「みんな共同参画事業」協働委託費:580千円				
事業費(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源	合計	国県	市債	その他	一般財源	
	予算・決算額	800			800	880				880	
	前年度比	114%				126%					
◆「当初予算額」と「決算額」の増減理由(事業の進捗状況等)		「みんな共同参画事業」において、当初予算要求後、事業の拡大に伴い、運営スタッフの増員等の要因により、事業費を増額させる必要が生じたため。なお、増額分の予算については、流用にて対応。									
◆平成27年度事業費(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源	合計	国県	市債	その他	一般財源	
	700				700	700				700	

■ 事業所管部署による評価

	評価	項目	評価の理由・評価に関する説明
必要性	3	市民ニーズが高い	市民に対する広報および市民参加は、市政運営に必要不可欠なものであるため。
	4	市の他の政策よりも優先的に実施すべきである	
	4	対象および内容が類似する事業がない	
妥当性	1	法令により実施することが義務付けられている	「みんな共同参画事業」については、草津市自治体基本条例の基本原則である「市民参加」に多大なる貢献をしている事業であり、また、民間事業者だけでなく、他の自治体においても、同様の事業を実施されていないため。
	4	法令に定められた市の責務を具現化して実施する事業である	
	1	上位計画に明確に事業が位置づけられている	
	4	国・県・民間の類似サービスと重複していない	
	1	市民の基本的生活の維持・確保に必要な事業、または内部事務である	
効率性	3	他の手法に比べて効率のよい事業手法である	両事業とも効率性は高いと考えるが、広報による周知、市民参加については、一概に費用対効果で計ることができないため。
	4	コスト削減の余地はない	
	3	受益者一人当たりのコストは適正である	
	4	受益者負担や補助の割合に問題はない	
継続性	4	事業を継続することで、さらなる効果が見込まれる	広報による周知、市民参加に対する取組みは、社会情勢により役割を終える類の事業ではなく、継続して取り組むことが何より重要であるため。
	4	所期の目的を達成しておらず、引き続き実施する必要がある	
	4	社会状況の変化に対応した事業内容である	
成果	4	当該年度の事業目的を達成できた	両事業とも市民の方から一定の評価を得ており、市民参加における取組みについては、審議会等に対する女性委員、公募委員の参画比率の上昇にも現れている。
	4	受益者の評価が得られている	
	3	費用対効果が大きい	

↑ 次の4段階により該当する数値を記入してください。

(4.よく当てはまる。 3.およそ当てはまる。 2.あまり当てはまらない。 1.ほとんど当てはまらない。)

■ 事業実施効果および課題、将来展望

事業実施効果	<p>「いいことないかな?でんごんばん発行事業」では、掲載された市民活動団体の方々から参加者が増えた等の意見をいただくことができた。</p> <p>「みんな共同参画事業」では、市民参加条例施行前、4%に留まっていた審議会等の公募委員比率が20%を超えたほか、女性委員の比率も31%から39%まで向上した。</p>					
事業に対する市民の意見、反応	<p>「いいことないかな?でんごんばん発行事業」では、掲載された市民活動団体の方々から参加者が増えた等の意見をいただくことができた。</p> <p>「みんな共同参画事業」では、「市の事業に関心を持つようになった」、「審議会に参加してみようと思った」等の声が聞かれた。</p>					
事業の今後の課題、将来展望	<p>少子高齢化の進展や世帯構造の変化、市民ニーズの多様化により、市のみでは解決を図ることが困難な課題が生じていることから、今後市と市民の協働による取組みがますます重要となる。</p> <p>そうした中で、両事業とも継続的に取り組むことで、「いいことないかな?でんごんばん発行事業」においては、更なる市民活動団体の支援を行い、「みんな共同参画事業」においては、より広範な市民に市政参加いただけるよう各種事業を展開する。</p>					
※平成29年度の予算措置	予算額(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源
		800				800
	28年度比	100%				
	積算根拠	<p>◇市民活動推進費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いいことないかな?でんごんばん発行事業 委託料:300千円</li> <li>・パールプロジェクト みんな共同参画事業 委託料:500千円</li> </ul>				

※ 当該事業が平成28年度に終了した場合は、当該事業に代わって措置した予算や関連予算を記載してください。